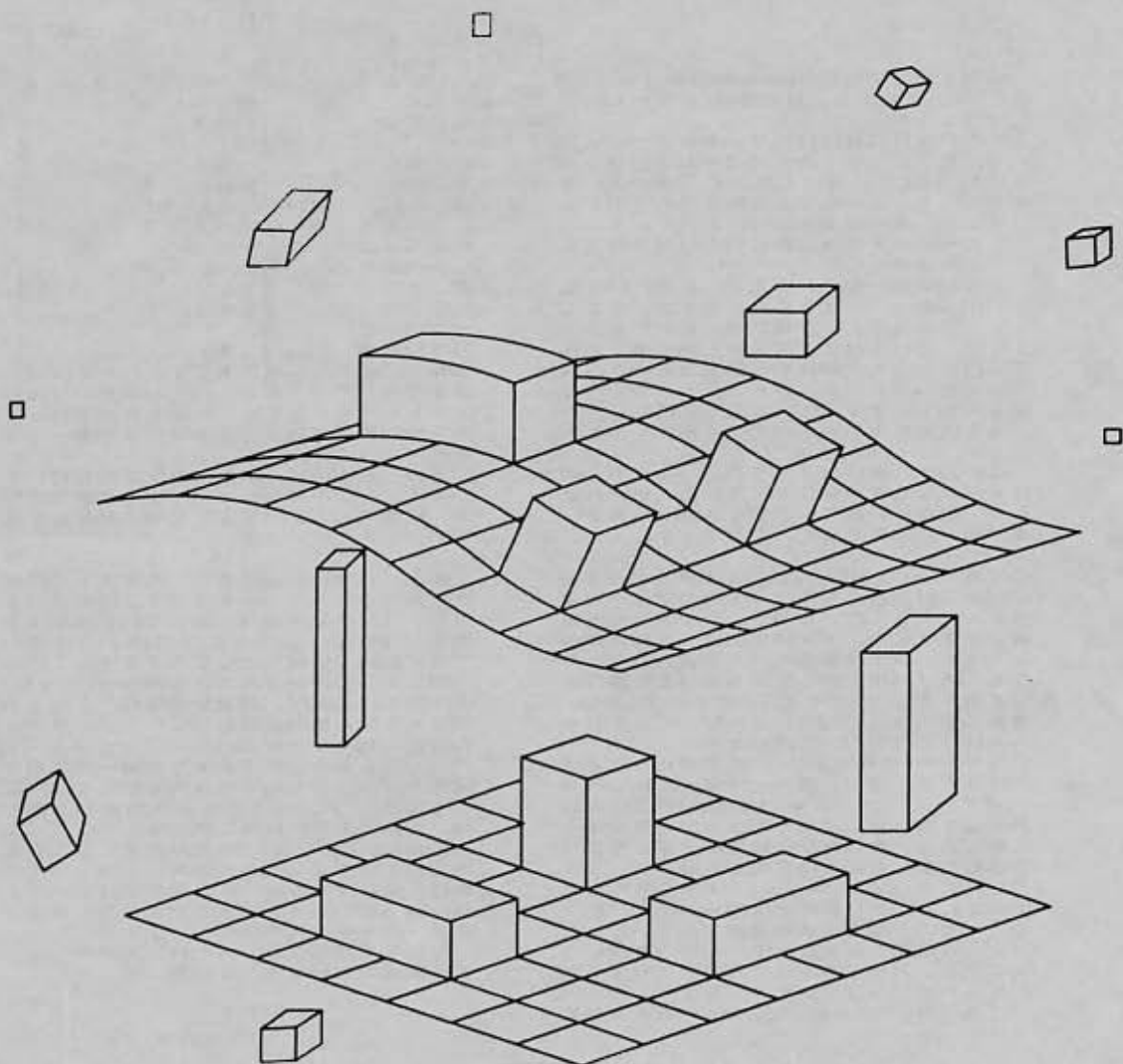


ITSUMIKAI



目次

会長あいさつ	1
先生あいさつ	2
「五三会」創立35周年記念パーティーについて	3~4
トピックス	5
五三会建築設計競技会	6~10
広島工業大学建築・環境系職員名簿	11
五三会活動報告	12
五三会収支決算報告	13
編集後記	14

NO. **32**
平成17年度版

ごあいさつ

会長あいさつ



五三会会長
梶山孝之 (S49年卒)

広島工業大学建築・環境系同窓会「五三会」の7,500名を数える会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

昨年の6月12日には、リーガロイヤル広島において「五三会・創立35周年記念祝賀会」を催し、御忙しい中にも拘らず、250余名の御参加のもとに各々色々と交流を深めて頂きました。又、その事前準備等においても多くの方々にご世話を頂き、盛況の内に無事終えることが出来ました。

今改めて思い出しますと、あっという間の35年であったことと思われませんが、現在こうして「五三会」が存続し諸活動が出来るのも、ひとえにこれまで諸先輩をはじめ多くの同窓会内外の方々の御理解と御協力を得て、はじめて今の「五三会」があることとつくづく感じ入っています。この紙面を御借りし、五三会を代表しまして改めて厚く御礼を申し上げます。

この35年の間には「五三会」の在り方も時代と共に少しずつ変化してきた事と思われませんが、現在行われている主な活動の内容を、まず簡単に紹介させていただきます。

○「五三会・建築設計競技」：県内外の建築・環境系学科を有する大学・高専の学生を対象にして、大きく門戸を開き、今やすっかり定着してきました。平成16年度は、広島に縁のある4人の若手建築家の方々を審査員として迎え、各々の視点から公開審査および講評をして頂きました。学生諸氏のためにも、環境・建築への「啓発と動機付」を願って、これからも続けて行きたいと思えます。

○「五三会・建築見学会」：学生諸氏と同窓生の皆さんで、近郊の環境・建築・工作物等々を見て歩こうという企画です。時には設計者・施工者自らの説明を聞きながら見学することもあり、また見学後に質問タイムを設ける等して参加者同士の交流をも計っています。

○「五三会・ホームページ」：平成13年度から開設し、五三会会員同士は勿論のこと、色々な方々と広く様々な情報交換をしていくことを主たる目的としています。是非一度開いて見て頂き、御参考あるいは五三会に対する御意見等を頂ければ幸いです。

○「五三会・交流会」：五三会への新入会員款

迎会、同窓会と在学生の座談会・忘年会、その他の懇親会・交流会等が年に何度か開かれます。35年間も積み上げますと、既に「我が子の世代」に後輩同窓生として参加を頂くこともあります。会員の皆様の御好みに合わせて、是非ともまず参加してみてください。

○「五三会・懸賞制度」：同窓生自らが審査員となって、建築・環境系の毎年の卒業設計の内から、最優秀なる作品を「学生大賞」として一作品を選び、卒業式の日に表彰しています。また、全国的な実績や評価があった同窓生の方々にも、その都度、五三会から表彰させて頂いています。

○「同窓会・五三会名簿」：この整理作業は、地味で、根気のいる作業です。しかしながら、誰かが少しずつでもまとめておかないと迷宮入りしそうなことです。転居された方は、工大全体同窓会又は五三会事務局まで御一方下されば幸いです。

○「ITUMIKAI」：年1回の会誌を発刊しています。五三会のホームページを開設して以来、経費節約もあって五三会の活動状況を最低限御伝えしています。

昨今、社会は急速に流れ、人と人との関係性も大きく代わりつつあります。同窓会「五三会」は、建築・環境に関して同じ広島工業大学で学び合い、卒業した者同士の連携の「場・組織・機関」としてあります。この35年間に渡って継承されている同窓会「五三会」の今後の行く末は、同窓生の皆様一人一人の姿勢と実践の如何に関わっています。今一度自分達の育った立脚点に立ち返って頂き、その一つでもある広島工業大学建築・環境系の同窓会「五三会」のその意味を改めて問い直して頂き、「五三会」へのより積極的な御参加、御協力を切に御願致します。

最後に、「五三会」の諸活動に対し多大なる御協力を頂きました各大学の先生方、学生の皆様、諸官庁の方々、そして会報誌のスポンサー協力をして下さいました各企業の皆様方には、心から御礼を申し上げます。

今後とも「五三会」の主旨を御理解いただき、御協力の程を宜しく御願致します。

愛想の良い時代



西川 加 禰

光陰矢のごとくと云いますが、気がつけばこの学科で一番の古ダヌキとなっております。30数年前の建築教育に情熱をもやしておられた先生方、すでに亡くなられた方も多く、懐かしく思い出されます。それだけ年を取った証拠かも知れません。

さて、最も愛想が良くなったのが、公務員と大学の教員だと云われております。たとえば、大学の先生が高校に出かけて行ってやさしく授業をしたり、オープンキャンパスでは、昼食券や飲み物はもちろんグッズのお土産まで出す愛想の良さです。また、教育の現場でも連絡事項は掲示板に貼り出して済む時代は終わり、携帯電話をかけないと事はすまなくなってきました。先日、担当する実習科目の作品を提出していない学生に携帯電話したのですがつながらないので、夕食頃を見計らって自宅に電話をかけました。父親が出られたので、ご子息の名前の読み方を尋ねたら「おれおれ詐欺」と間違われてしまいました。今や大学の先生もここまで疑われてきたのかと、自分自身なさけない思いをしました。

愛想の良い時代は、大学の魅力あるメニューづくりにも見られます。環境デザイン学科は全国で初めての学科であると注目を集めたものの、周辺の大学にも設置されてくると競争が激しくなってきました。この度、当大学でも平成18年度導入をめざして、大改革が表に出てきました。そのなかで環境デザイン学科は、社会環境系・環境デザイン学科と地域

環境学科の2学科へと生まれ変わろうとしております。それにしても建築がますます見えにくくなった感もします。

さて、レコラボが誕生しました。この事について、少し述べたいと思います。

ReCoLaBo (レコラボ) は、再生・協働・研究所などを意味する英語を組み合わせてつくった「住環境教育学習センター」のニックネームです。このセンターは今年度、広島工業大学の協同研究機構の一環として新設され、学生・生徒や一般市民に広く門戸を開放し「いえやまち」の再生のために大学内外の専門知識や技術を学習できる場を提供する目的でつくられました。

第1回のワークショップは地元、佐伯区商店街「コイン通り」を対象に、「街中に建つ住宅を対象にしたリフォーム」、「店舗のリニューアルデザイン」、「商店街活性化に向けたまちづくり」、の3つのテーマで実施されます。ワークショップの参加者は中国・四国地域が対象で、3人一組で申込み、広島工業大学教員やOB建築家、学生と一緒に現地検証、ヒアリング図面や模型作成をします。このワークショップは3月下旬の3日間実施することになっております。

このように、大学の魅力づくりにしのぎを削り、良い意味での愛想を良くしていかないと、大学も生き残れない時代になったことを痛感しております。

「五三会」創立35周年記念パーティー ご参加の皆様へのお礼

皆様方におかれましてはその後いかがお過ごしでしょうか。

6月12日のパーティーも皆様のおかげさまでもちまして無事に終了することができました。本当にありがとうございました。五三会及び実行委員会を代表いたしまして厚くお礼申し上げます。

今回は同窓生の皆さんの親睦はもとより、大学の先生方や新たに在学生の皆さんを交えて時間の許す限り厚く交流いただくことを主眼に置いておりました。会の司会もテレビ新広島の三上絵里アナウンサーとアシスタントとして本大学2002年卒の田中絵理子さんの本当に息の合ったコンビで、楽しいトークを交えながらの巧みな進行でした。また、同窓生の皆さんは何年かぶり、或いは何十年かぶりに時を懐かしみながら話し込み、他が目に入らず何も聞こえずといった風情があちこちで見られましたが、楽しいあつという間の2時間だったように思います。中には明らかに時間が足りないとの不満顔も見え、パーティー終了後、三々五々に気の合った者同士で二次会へと散って行かれました。どんなに時間が経とうとも時代が変わろうとも、同級生や同窓生達と何年かぶりに対話をしますと走馬灯のようにその時が鮮やかに蘇り、そして心が洗われ純粋な気持ちになれたのではないのでしょうか。そして私たちが現在忘れかけている心と心のつながりや、他では得られない貴重な宝物が数多くあるように思いました。今回パーティー会場に在学生組織の「匠会」のメンバー20名を超える学生さんたちにおこしいただきました。学生さんたちは設計作品の展

示をはじめ、現在の大学の様子の紹介、後片付けなどを一生懸命手伝ってくれました。もっともっと場所や時間などが充実した展示会とし、同窓生の皆さんに時間をかけて見ていただきたかったとの反省もありましたが、学生諸氏に本当にありがとうございましたとお礼を申し上げます。今回同窓会に初めて在学生の参加を試みました。現在は大学と社会がとても近い距離にあり、私たち同窓会の役割も今後益々大きなものがあるのではないかと思います。そして機会あるごとに学生さんたちと交流を図っていくべきだと思いました。

このパーティーは昨年より「五三会」の役員及び実行委員会のメンバーの皆さんで企画、準備、進行、運営して来ましたが、参加人数も当初はどうなることかと心配致しましたが、216名の参加者となり、大いに盛り上がったパーティーになったと思います。本当にメンバーの皆さんご苦労様でした。反省点も色々と有りますが、次回に生かせればと思っております。最後にパーティーにお運びいただいた皆様、次回同窓会までどうぞお元気で益々活躍されますことをお祈りいたしましてお礼に代えさせていただきますと思います。誠にありがとうございました。

「五三会」創立35周年記念パーティー
実行委員会委員長

渡辺 武彦 (1969年卒 (1期))

Tel 082-273-9581

五三会会長

梶山 孝之 (1974年卒 (6期))

Tel 082-854-5837

「五三会」創立35周年記念パーティー 開催報告

2004年6月12日午後7時、パーティーはテレビ新広島の三上絵里アナウンサー、アシスタントを田中絵里子（2002年卒）さんの「エリ・エリ」コンビ司会で明るい雰囲気の中、スタートしました。参加者は216人に上りました。

まず渡辺実行委員長からご挨拶、パーティー開催に至るまでの実行委員の苦勞を代表してご紹介差し上げました。

続いて鶴学園の鶴理事長から来賓のご挨拶、お父上でいらっしゃる前理事長は今もご健在で毎日学生を見るのが楽しみだ、というお話を頂戴しました。

さらに広島工業大学の茂里学長からご挨拶、少子化への対応など現在の大学が抱える問題についてのお話を頂戴しました。

乾杯は、広島工業大学同窓会の横山会長です。建築学科の復活を夢見る思いとともにご発声いただきました。

また会場の壁面には卒業設計、五三会建築設計競技（26回～30回）の最優秀作品を展示し、来場の皆様方に学生さん方の作品を見ていただきました。

高松先生、篠原先生、森保先生、菅原先生、野添先生、村上先生、廣川先生、平田先生、久保先生以上9名の先生が登壇され、自己紹介で個性豊かなご挨拶をいただきました。

現役の学生さんたちからは、現在の学校の様子をご紹介いただきました。

そびえ立つ新1号館、スクールバス、CADの導入、授業風景など様変わりした景色に諸先輩方も驚かれたのではないのでしょうか。

アシスタント田中絵里子さんの突撃インタビューもあり、局地的な盛り上がりを見聞しました。また、校歌斉唱では曲が流れ始めると…思い出した方、全然聞き覚えのない方など、様々でしたが、1番だけでしたので、なんとか最後まで歌っていただきました。

閉会のご挨拶では、五三会の梶山会長から皆様のご協力のもとに五三会が成り立っているというお話を差し上げました。

締めでは環境学部篠原学部長に万歳三唱をいただきました。

2時間のパーティーはあっという間に過ぎ、始まるまでは、会費がちょっと高い？とか一体どんなパーティーになるの？などいろいろご意見があったようですが、終わってみれば、なつかしい顔に出会えたり、昔話に花が咲いたり、満足していただけたのではないのでしょうか。（みなさんパーティーが終了しても、なかなか会場から立ち去ろうとされませんでした。）

また何年後かに皆様とこのような形で再会できる日を楽しみにしております。

ご来場ありがとうございました。

「五三会」創立35周年記念パーティー実行委員会
企画委員 太田 知典（1989年卒）



会場風景



会場風景

トピックス ～1年間の活動報告～

平成16年度 五三学生会大賞 決定

今年度の環境デザイン学科・建設工学科（建設工学）の卒業設計作品の中で、五三会顕彰制度認定事業委員会が審査を行い、優秀と認められた学生に対し表彰を行う。

平成16年度 五三学生会大賞

受賞者：村井由華

環境デザイン学科 村上研究室

作品：森の学校～自然・現象・体感～

コンペ入選

2月現在での在学学生および卒業生のコンペ受賞状況のお知らせです。今年度も、全国レベルのコンペに多数入選しております。

表記

コンペ名

課題

受賞名・受賞者

所属

在校生

シェルター学生設計競技2004

「1000㎡・木・住宅」

奨励賞 福島 康生 梶西 則吉

環境学部環境デザイン学科 4年

第2回 社団法人商業施設技術者・団体連合会コンペ

主張する「みせ」デザインコンペ

東陶器株式会社特別賞

吉川香二郎 吉田 尚史 河村 源太

江藤 綾子 小林美貴子

環境学部環境デザイン学科 4年

第11回空間デザイン・コンペティション

「ガラス質の生きた住まい」

佳作 植田 開 梶田 暁

環境学部環境デザイン学科 4年

建坪9坪の家コンテスト

審査員賞 谷尾 尚隆

大学院 環境学研究科地域環境科学専攻 1年

入賞 塚川 譲 鷺見 和高

環境学部環境デザイン学科 4年

入賞 吉田 尚史

環境学部環境デザイン学科 4年

第17回コイズミ国際学生照明コンペ

「地球環境－持続可能性のあかり」

佳作 城土 健作

環境学部環境デザイン学科 4年

住まいのインテリアコーディネーションコンテスト2005

プランニング部門（学生）

「エンジョイライフ“LDK”のインテリア計画」

支部長賞 谷尾 尚隆

大学院 環境学研究科地域環境科学専攻 1年

第39回セントラル硝子国際建築設計競技

「アジアフロントビレッジ」

優秀賞 佃 良夫

大学院 環境学研究科地域環境科学専攻 1年

八代まちづくりデザインコンペティション

佳作 佃 良夫 塚川 譲

田中 祐貴 山内 雅史

藤谷 遼介 永満 慎也

大学院 環境学研究科地域環境科学専攻 1年

環境学部環境デザイン学科 3・4年

佳作 植田 開 梶田 暁

村井 由華 原山 大

戸田 祐介

環境学部環境デザイン学科 3・4年

卒業生

シェルター学生設計競技2004

「1000㎡・木・住宅」

入選 植木康剛

住まいのインテリアコーディネーションコンテスト2005

プランニング部門（一般）

「エンジョイライフ“LDK”のインテリア計画」

奨励賞 横田 健二

第21回JIA東海支部建築設計競技

「境界空間」

特別賞 横田 健二 横田 綾子

第11回ユニオン造形デザインコンペ

「ドメスティックランドスケープ」

入賞 花本 大作

岩本秀三設計事務所

第30回 日新工業建築設計競技

「屋根と住む」

3等 花本 大作

岩本秀三設計事務所

佳作 横田 健司 横田 綾子

第31回五三会建築設計競技結果報告

31th ITUMIKAI COMPETITION

課題：混じりあう場

31回という、新たなステージを迎えた本年度事業は、課題を「混じりあう場」と題し行われました。

審査員には、若手建築家として現在ご活躍の、俵博紀先生、中村勝己先生、西尾通哲先生そして藤本寿徳先生の4人の先生をお願いいたしましたところ、みなさんご多忙にも拘わらず快くお引受け下さりました。

今回は、準備の不手際から応募期間を十分に設けることができませんでした。昨年12月12日に応募締切を迎え、広島工業大学をはじめ、諸大学、高专から計44作品にも及ぶ力作が寄せられました。

12月19日に広島市まちづくり市民交流プラザ内のギャラリーにおいて、審査員の先生方にお越しいただき、応募された学生の皆さんや広島でご活躍中の建築家の先生方など約70名以上が見守る中、公開審査会が執り行われました。

審査は五三会幹事長で建築家としてご活躍の平田欽也先生をコーディネーターをお願いし、審査員の先生方は応募作品一つ一つに講評を与えながら、非常に丁寧な審査をして頂きました。応募総数の多さもさることながら、どの応募作品も力作揃いで甲乙つけ難く、大変悩まれたご様子でした。審査結果は右の通りとなりました。

入選の皆さん、おめでとうございました。

残念ながら誌面の都合により、ここでは入選作品の紹介のみに留まらせて頂きますが、応募された作品はどれも、一生懸命に取り組まれた様子が感じられました。審査会終了後は、入選となった方々と審査員の先生方との意見交換が行われるなど、とても有意義な一時を過ごすことができ、先生方と出席された学生の方々も喜ばれていたようでした。

今後とも、この設計競技がより発展してい

きますよう、皆様方の一層のご理解とご協力をお願い致します。

最後になりますが、先生方にはこの建築設計競技事業にご理解を頂き、ご多忙の中審査、講評そして座談会にと貴重なお時間を割いて頂きましたことをお礼申し上げます。

また、本年度事業も時間的余裕のあまり無いスケジュールでしたが、遠方を含み多くのご応募をいただき、応募して下さった皆様にお礼申し上げます。

ご参加ありがとうございました。

以上にて、本年度建築設計競技事業の報告を終わります。

審査結果 (敬称略)

最優秀賞	team k 荒木 了 鷺見和高 矢吹美枝 永島武昌 伊藤順一 岩田哲哉 大平美幸 岡村麻耶 橋部翔一 鈴木崇久 田淵昌利 寺田慎史 永井郁美 西川佳知 原田真梨子 渡邊千奈 (広島工業大学 佐藤洋研究室)
優秀賞	久兼将弘 大塚みゆき 竹下和男 田島佳也 中丸剛寿 山口雅生 (広島工業大学環境学部環境デザイン学科)
優秀賞	池田美徳 塚脇喜章 森田ひとみ (広島工業高等専門学校建築学科)
依賞	三輪祐仁 高橋英明 (名古屋工業大学大学院)
西尾賞	塚川 譲 田中祐貴 戸田祐輔 (広島工業大学)
中村賞	安井雄治 (広島工業大学工学部建設工学科 建築工学コース 福田研究室)
藤本賞	長池正純 (広島大学大学院)



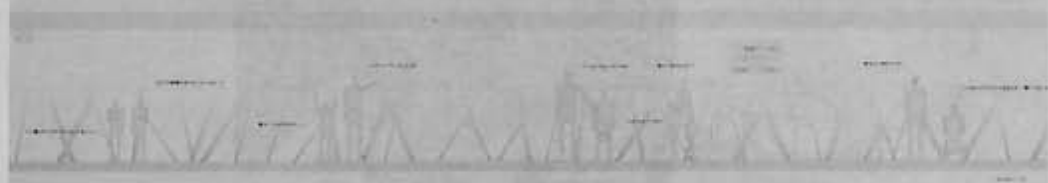
最優秀賞

team k

荒木 了 鷺見和高 矢吹美枝 永島武昌 伊藤順一 岩田哲哉
 大平美幸 岡村麻耶 櫛部翔一 鈴木崇久 田淵昌利 寺田慎史
 永井郁美 西川佳知 原田真梨子 渡邊千奈

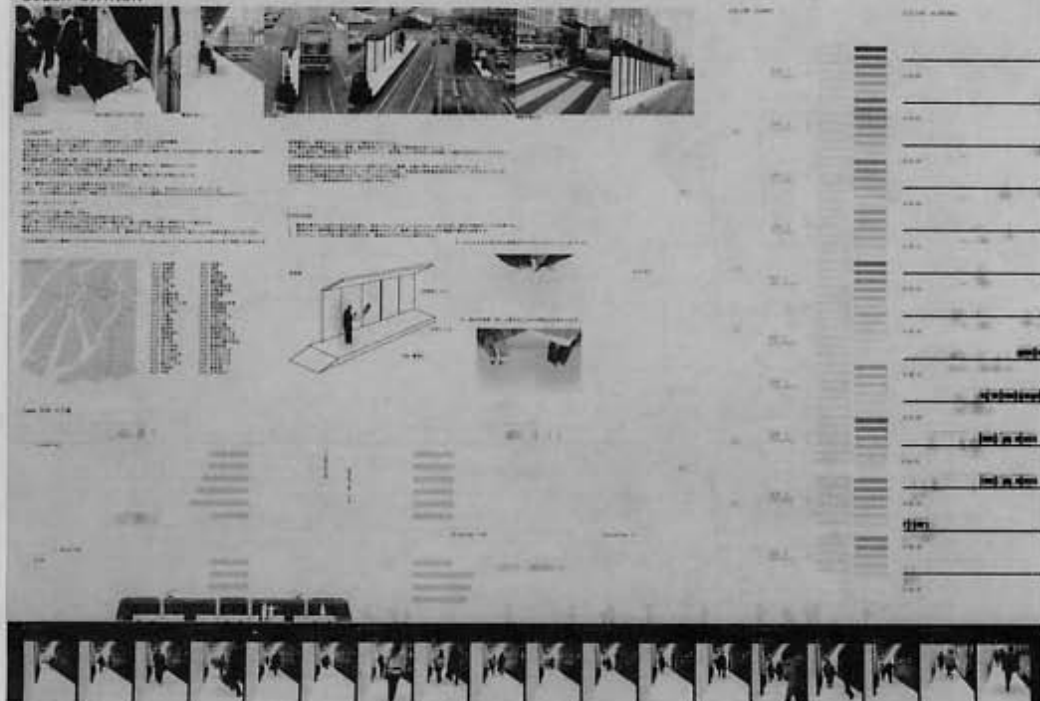
(広島工業大学 佐藤洋研究室)

let's fold



優秀賞 久兼将弘 大屋みゆき 竹下和男 田島佳也 中丸剛寿 山口雅生
(広島工業大学環境学部環境デザイン学科)

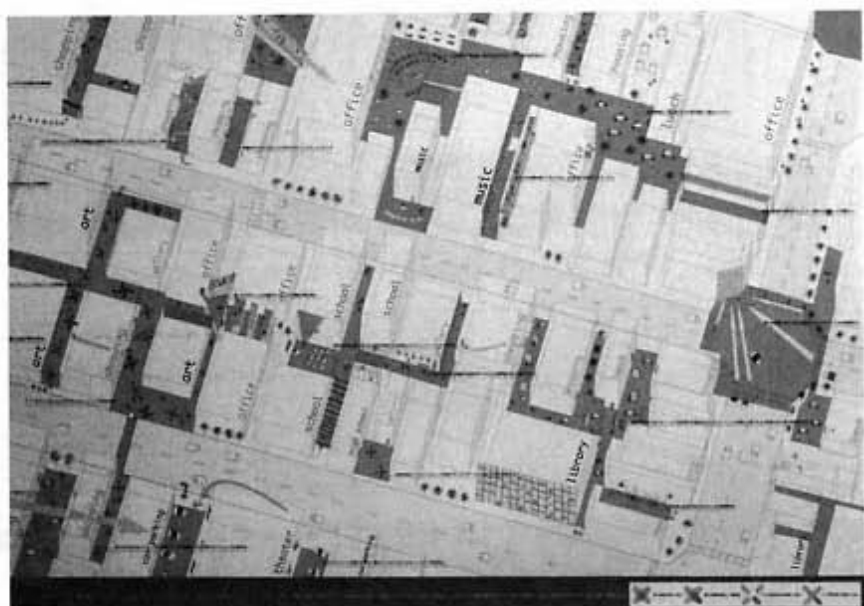
GOLDR STATION



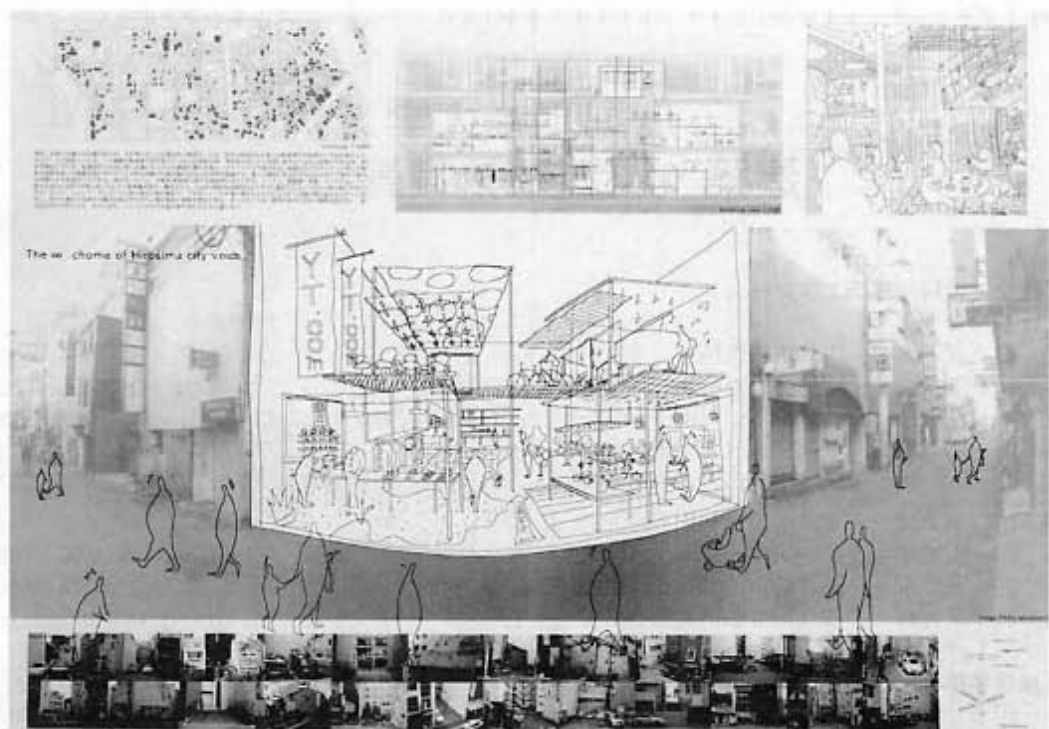
優秀賞 池田美穂 塚脇喜章 森田ひとみ
(呉工業高等専門学校建築学科)



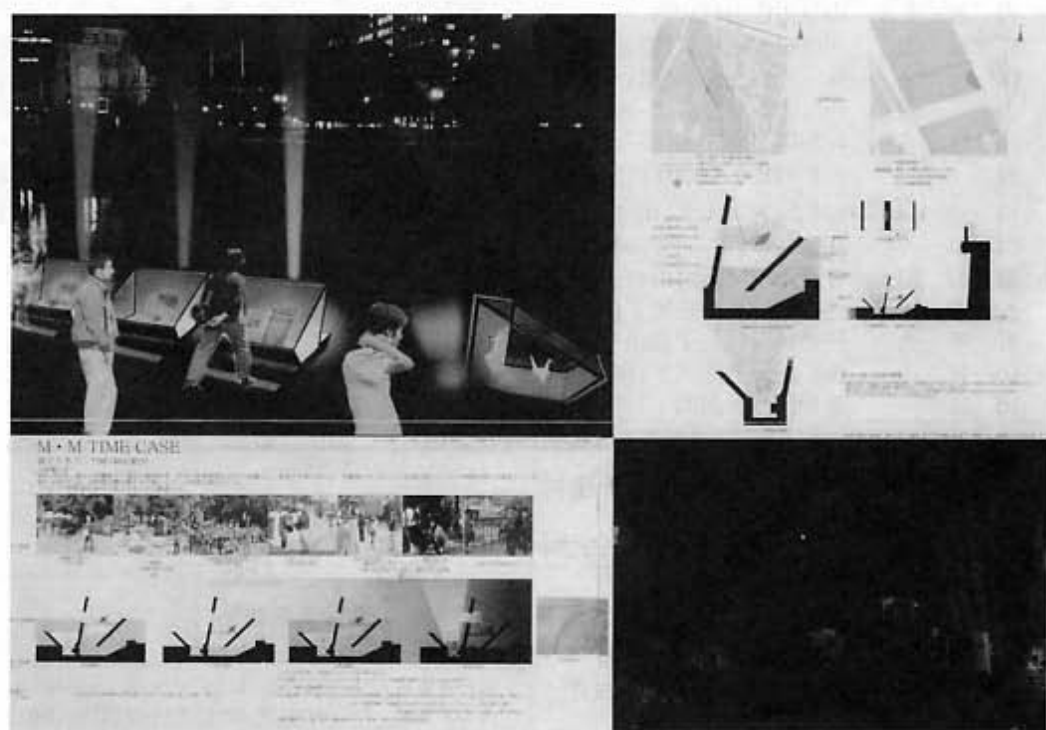
俵 賞 三輪祐仁 高橋英明
(名古屋工業大学大学院)



藤本賞 長池正純
(広島大学大学院)



西尾賞 塚川 譲 田中祐貴 戸田祐輔
(広島工業大学)



中村賞 安井雄治
(広島工業大学工学部建設工学科 建築工学コース 福田研究室)

広島工業大学 建築・環境系教職員名簿

〔建設工学科 建築工学コース〕

氏名	住 所	郵便番号	電話番号
佐藤 立美			
高松 隆夫			
宮崎 祐助			
浅野 雄			
岩井 哲			
清田 誠良			
福田 由美			
玉井 宏			
大林 章真			

〔環境学部 環境デザイン学科〕

水田 一征			
篠原 道正			
森保 洋之			
菅原 辰久			
菅野 添久			
野黒 岩介			
竹野 保夫			
久保 上俊			
村田 頭良			
田佐 藤川			
西川 加			
廣手 越			
三三 村好			
脇平 田祥			

平成16年(2004年)度「五三会」活動報告

幹事長 平田 欽也 (S60年卒)

●平成16年(2004年)度「五三会」の活動

□「五三会」総会・懇親会

平成16年4月17日

- ・前年度の活動報告や決算の報告
- ・次年度の計画案・予算案や役員改選など

□幹事会

- ・役員及び事業委員が各事業の遂行について話し合う

平成16年度は5回の幹事会を開催

場所：アステールプラザ他

□「五三会」創立35周年記念パーティー

平成16年6月12日

場所：リーガロイヤルホテル広島

□交流事業部会

- ・忘年会の開催

平成16年12月19日

場所：やぐら茶屋

□デザイン活動推進事業部会

- ・「五三会」建築設計競技の開催

公開審査会・表賞式・座談会

平成16年12月19日

場所：広島市まちづくり市民交流プラザ

審査員：依博紀氏、中村勝巳氏、

西尾通哲氏、藤本寿徳氏

□広報事業部会

- ・会報誌「五三会」第32号の編集、発行
- ・五三会ホームページの更新、管理

□広告担当

- ・会報誌「五三会」とホームページに掲載いただく広告依頼者との調整

□「五三会」名簿管理担当

- ・「五三会」正会員名簿の更新、管理
- ・会報誌の送付

□顕彰制度認定事業委員会

- ・五三会栄誉賞の認定
- ・五三会学生大賞の認定

平成16年度の主な活動を紹介します

1)「五三会」ホームページ

昨年度より「五三会」ホームページの本格的な運用が開始されています。五三会行事のご案内や、ご報告がタイムリーに行えるようになりました。昨年の「五三会」創立35周年記念パーティー開催のご案内にも活躍いたしましたし、建築設計競技の作品募集や結果発表では、欠かすことの出来ないメディアとなっていました。また、講演会やセミナーなど、会員の皆さまに役立つ情報も発信しております。まだ、ご覧いただけていない方は、是非一度検索してみてください。

URLは<http://www.itsumikai.jp/>です。

今後は、できるだけたくさんの方にアドレス登録していただき、会員相互の情報交換に役立てて頂きたいと思っております。また、会員の方々からホームページに情報が発信できるシステムを検討しております。インターネットを活用した新鮮な情報

提供を進めていきたいと思っております。

2) 第31回 五三会建築設計競技

五三会建築設計競技では、26回から30回までの5年間のメインテーマを「広島のふれ合いの場を考える」と定め、広島市の「公・共の場」の魅力的なあり方について創造し、広島の都市デザインの可能性について考えて行くコンペを開催いたしました。昨年度、第30回の節目を終え、今年度からは、五三会建築設計競技の新たな方向を模索して行きたいと思っております。そのような中で、第31回の今回は、これまでの社会性のあるテーマを受け継ぎ、「混じり合う場」という課題とし、広島で活躍されている4人の若手建築家に審査をお願いいたしました。また、運営サイドのスタッフも若い方々や、数多くの在学生の皆さんに参加して頂くことができました。また、ホームページ上で作品募集をしたことから、海外からの応募作品もありました。今後も、五三会建築設計競技に多くのおみなさんが関心を寄せていただき、社会へ情報発信できるようなコンペに成長することを期待したいと思います。

3)「五三会」創立35周年記念パーティー

216人の参加者で盛大な会となりました。お忙しい中、参加いただきました皆さまに厚くお礼を申し上げます。また、実行委員会の皆さまやご協力いただいた在学生の皆さま、準備に奔走いただきありがとうございました。その後の反省会では「会費が高かった」「時期が良くなかった」「時間が短かった」「展示がゆっくり見られなかった」…等の貴重なご意見も出ました。次回に生かして行きたいと思っております。また、準備に追われてしまっ、例年の「五三会」行事である、建築見学会や五三会交流会が開催出来なかったことも残念でした。

●平成16年度役員

(会 長)	梶山 孝幸	(昭和49年卒)
(副 会 長)	松田 智仁	(昭和55年卒)
	落合 木堂	(昭和56年卒)
(会 計)	田中 義登	(昭和63年卒)
	木下 和夫	(昭和63年卒)
(会計監査)	松本 孝志	(昭和52年卒)
	神垣 聡志	(昭和61年卒)
(書 記)	奥野 功貴	(平成4年卒)
	小瀧 宏治	(平成6年卒)
(幹 事 長)	平田 欽也	(昭和60年卒)
(副幹事長)	三島 久範	(昭和60年卒)
(顧問)	山野 正晴	(昭和54年卒)

[五三会事務局]

〒731-5193

広島市佐伯区三宅2丁目1-1

広島工業大学環境学部環境デザイン学科

菅原研究室内 TEL 082-921-3121

五三会収支決算報告

平成16年度収支決算報告 (平成17年3月1日現在)

◆収入の部			(単位 円)
繰越	金	5,412,569	
新会員	費	605,840	
広利	料	180,000	
息	入	14	
合	計	6,198,423	
◆支出の部			(単位 円)
会議	費	41,599	
バイト	費	75,500	
名簿作成	消耗品	9,682	
印金	印刷費	22,500	
融機	関手数	770	
雑	費	4,020	
広報	費	81,200	
会誌	印刷費	225,750	
会報	誌郵送費	130,410	
広報	広告活動費	0	
デザイ	ン活動費	355,672	
企画	活動費	0	
交流	事業費	108,478	
学大	賞記念品	2,938	
予繰	備越費	0	
合	計	5,139,904	
合	計	6,198,423	

平成17年度収支予算 (案)

◆収入の部			(単位 円)
繰越	金	5,139,904	
新会員	費	800,000	
広利	料	210,000	
息	入	200,000	
合	計	6,349,904	
◆支出の部			(単位 円)
会議	費	100,000	
バイト	費	90,000	
名簿作成	消耗品	10,000	
印金	印刷費	40,000	
融機	関手数	1,000	
雑	費	10,000	
広報	費	100,000	
会誌	印刷費	250,000	
会報	誌郵送費	150,000	
広報	広告活動費	60,000	
デザイ	ン活動費	350,000	
企画	活動費	50,000	
交流	事業費	100,000	
学大	賞記念品	30,000	
予繰	備越費	100,000	
合	計	4,908,904	
合	計	6,349,904	

建築学科記念事業基金収支決算報告

平成16年度収支決算報告 (平成17年3月1日現在)

◆収入の部			(単位 円)
繰越	金	812,353	
記念事業	会費	2,594,280	
管理	費精算	1,360	
利	息	16	
合	計	3,408,009	
◆支出の部			(単位 円)
会議	費	27,870	
印金	印刷費	14,535	
融機	関手数	1,155	
雑	費	8,153	
在学	生交流	76,000	
在学	生助成	100,000	
記	念事業	1,461,383	
記	念事業	511,210	
繰	越	1,207,703	
合	計	3,408,009	

平成17年度収支予算 (案)

◆収入の部			(単位 円)
繰越	金	1,207,703	
合	計	1,207,703	
◆支出の部			(単位 円)
雑	費	10,000	
在学	生交流	100,000	
在学	生助成	150,000	
繰	越	947,703	
合	計	1,207,703	

「五三会」第32号（平成17年度）スポンサー 一覧

山本窯業化工㈱
㈱日立ビルシステム中国支社
㈱I N A X中国支社
松下電工㈱住建分社
㈱島屋

東陶磁器㈱中国支社
シンコー広島㈱
J F E 鋼板㈱中国営業所
広島菱重興産㈱
正田建設㈱

(順不同)

編集後記

会報誌発行にあたり御寄稿下さった方々、スポンサーの皆様に御礼申し上げます。
また、いつも五三会会報誌発行にあたり御支援頂きまして有り難うございます。
会報誌がいつまでも続いて行けるように、これからもがんばっていきたいと思います。
御協力の程、宜しくお願い致します。

「五三会」第32号編集委員
三好 征一 (H9)

(連絡先)

五三会事務局
広島市佐伯区三宅二丁目1番1号
広島工業大学環境学部環境デザイン学科
菅原研究室内
(〒731-5143) 082-921-3121 (代)

広島工業大学建築・環境系同窓会会誌
「五三会」第32号

編集責任者 三好 征一
発行責任者 梶山 孝之
企画・製作 ハローデンイン 株式会社
発 行 平成17年3月